

## 事業評価書

補助事業名	交通施設：令和4年度 道路維持補修車購入事業				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	小美玉市堅倉地内				
補助事業の成果の目標	<p>当市の道路管理業務として市道認定道路1,536kmの維持管理の他、側溝等排水路、交通安全施設等の維持管理を行っている。しかし、現在運用している維持補修車両は老朽化が著しく購入後10年以上経過している。また修理や部品交換も年々多くなっていることから、安全対策の面からも運用上においても懸念される状況である。</p> <p>そこで、常に万全な車両で災害対応をはじめ、道路等に関する市民の要望に迅速な対応ができるよう、維持補修車両を整備することで、市内全域の生活道路を維持する一助として随時支援ができるよう地域区分による車両の運用体制の構築を図る。</p> <p>【参考指標】（令和2年度）  年間稼働日数 軽ダンプトラック2台の平均 246日（要望件数300件）  2tダンプトラック3台の平均 182日（要望件数223件）</p>				
補助事業の内容	軽ダンプトラック3台購入				
補助事業の始期及び終期	令和3年度から令和8年度				
事業費及び交付金額		令和3年度以前	令和4年度	令和5年度以降予定	計
	事業費	円 4,104,408	円 4,197,985	円 18,371,500	円 26,673,893
	交付金額	円 3,700,000	円 4,100,000	円 13,500,000	円 21,300,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]  軽ダンプ<sup>°</sup>の購入により台数が増えたため、現場へ出るとき車両がなくなってしまうことが解消された。また、操作不具合や故障障害が無くなり円滑に作業が行えるようになったなどの業務効率向上の評価があった。このことから道路施設の適切な維持管理により、市民の道路交通上の安全対策と道路等に関する市民の要望に迅速な対応の向上ができた。引き続き支援体制の整備を図るものとする。</p> <p>「道路維持補修車稼働状況」（令和4年度年間業務日数 252日）  令和4年度軽ダンプ3台購入  ・水戸480な9040（9/13から3/31まで）  業務日数143日の内稼働日数143日 100.0%  ・水戸480な9041（9/13から3/31まで）  業務日数143日の内稼働日数121日 84.6%  ・水戸480に2110（1/27から3/31まで）  業務日数48日の内稼働日数40日 83.3%</p> <p>[地域住民への周知の実施状況]  ①車体にステッカーで明記  ②市ホームページに掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	現在、市が保有している道路維持補修車について、計画的な整備更新により安全な道路環境の維持に務める。				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

## 事業評価書

補助事業名	環境衛生施設事業:街頭防犯カメラ整備工事				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	茨城県小美玉市内				
補助事業の成果の目標	<p>小美玉市では、少子高齢化・人口減少に伴い、自治会・町内会加入率が低下し、地域のつながりが希薄化してきている。これまで、自治会等は、地域の防犯や見守りなど様々な活動を支えてきたが、犯罪や事故に対する地域防犯機能が低下し、犯罪や事故に対する不安が高まっている。</p> <p>このことから、犯罪の抑止及び事件・事故の早期解決を図るため防犯カメラの整備を推進し、犯罪が起こりにくい環境づくりを行い、安全安心なまちづくりを推進するものである。</p>				
補助事業の内容	街頭防犯カメラ整備 5基				
補助事業の始期及び終期	令和4年度から令和6年度				
事業費及び交付金額		令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
	事業費	円 0	円 3,157,000	円 3,850,000	円 7,007,000
	交付金額	円 0	円 2,800,000	円 3,000,000	円 5,800,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 当施設は、4年度で工事が完了し供用を開始した。地域の代表者や学校長などに対して意見を聴取したところ、防犯カメラが設置されたことにより、犯罪抑止や事件・事故の早期解決につながると感じる等の回答があった。次年度以降も地域の代表者などから意見を聴取し、効果を図りながら事業を継続していく。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 本事業が交付金を活用した事業である旨を、 ①防犯カメラ設置標識に補助事業名記載 ②市ホームページに掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無し				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し				

## 事業評価書

補助事業名	百里飛行場関連公共施設（消防に関する施設：耐震性貯水槽設置）整備事業				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	小美玉市野田				
補助事業の成果の目標	<p>小美玉市の消防水利の整備状況は、茨城県内の各自治体平均の設置状況と比べて低く、未だ不十分な状態である。</p> <p>平成24年1月に本市小川地区で発生した住宅火災では延焼により建物10棟が全焼、4棟が部分焼となった上に焼死者1名を出した。また、東日本大震災時には地震の影響による断水（消火栓使用不能）中に火災が発生しており、平成31年2月に大型事業所で発生した火災では、水利不足による防ぎよ活動の遅れから延焼拡大し、結果的に複数の建物（約10,000平方メートル）を焼失する大規模火災となってしまった。</p> <p>このような現状と今後発生が想定される首都直下型地震等の予期せぬ災害に備え、必要な水源を確保するために耐震性貯水槽を整備して消防水利の充実と強化を図り、住民が安心して安全な暮らしができる環境に寄与することを目標とする。</p> <p>【参考指標】  消防水利の設置率：66%（R3年度末時点）  68%（R4年度末時点）  70%（R13年度末時点最終目標）</p> <p>整備予定地区の人口／世帯数：野田（鷲沼）区231世帯（521人）【R5.6.1現在】</p>				
補助事業の内容	工事1基 耐震性貯水槽（40㎡型）1基				
補助事業の始期及び終期	令和3年度から令和4年度				
事業費及び交付金		令和3年度以前	令和4年度	令和5年度以降予定	計
	事業費	円 1,220,890	円 8,140,000	円 0	円 9,360,890
	交付金額	円 1,000,000	円 7,400,000	円 0	円 8,400,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]  野田地区における耐震性貯水槽の整備が完了した。地元区長に対して住民の意識調査を依頼し意見聴取を行って頂いたところ、耐震性貯水槽が新設されたことによって消防水利の充実と強化が図られ、安心して安全な暮らしができる環境が整備されたとの声が多く上がっており、事業の成果が認められた。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況]  地区回覧、防火水槽の標識（支柱）、意見聴取用紙に調整交付金事業である旨記載をした。また、市ホームページ及び広報紙に掲載し、多くの市民に防衛交付金による設置事業であることを周知することができた。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用 の有無	無				

## 事業評価書

補助事業名	百里飛行場関連公共用施設（消防に関する施設：第13分団機庫・詰所等建設工事）整備事業				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	小美玉市山野1628番3				
補助事業の成果の目標	<p>当該施設については、昭和56年に竣工し、間もなく43年が経過しようとしており老朽化も著しい。地域の災害活動拠点としての機能が万全にできているかという不安の要素。また耐用年数も近々に見込まれる中で修繕の必要性に関する問題などが生じていた。</p> <p>このような状況の下、できるだけ早期に施設の更新を図り、適切な配備をすることは市民に与える安心感も大きいと考えられ、あわせて災害時の減災復旧に携わる地域消防団の負担軽減にも大きく寄与するものと考えられる。</p> <p>※第13分団管轄地区世帯数及び人口</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区名： 山野、 幡谷、 川戸、 外之内 合計4地区</li> <li>・世帯数： 616件、 226件、 526件、 96件 合計1464件</li> <li>・人口： 1521人、 542人、 1257人、 269人 合計3589人 (令和4年5月1日現在)</li> </ul>				
補助事業の内容	鉄骨造2階建 建築面積72.8㎡ 延床面積120.8㎡				
補助事業の始期及び終期	令和4年度				
事業費及び交付金		令和3年度以前	令和4年度	令和5年度以降予定	計
	事業費	円	円 55,814,000	円 0	円 55,814,000
	交付金額	円	円 48,000,000	円 0	円 48,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 完成後、地元区長に対して整備効果についての意見を聴取した。機庫詰所が建設されたことで、安心安全な生活環境が整ったとの声が多く上がっています。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] ①工事前、回覧により周知 ②工事期間中、工事看板に記載 ③建物に記載 ④広報紙の掲載 ⑤市ホームページは現在掲載準備中です。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

## 事業評価価値書

補助事業名	福祉に関する事業：小美玉市公共用バス整備基金									
補助事業者名	小美玉市									
実施場所	小美玉市内									
補助事業の成果の目標	<p>現在、小美玉市では地域住民の社会福祉活動の一助として市が所有する公共用バスを利用する事業等を行う各種団体に貸し出している。</p> <p>当市の公共用バスは、既に10年以上を経過しており、総走行距離も20万km以上であることから、修理や部品交換が年々多くなっており、また安全対策の面からも懸念される状況である。</p> <p>そこで、常に万全な車両で貸し出すことができるよう、現有車両を修理、点検、更新することで、円滑な社会福祉活動の一助として支援ができる環境の確保を図る。</p> <p><b>【参考指標】</b> 令和3年度公共用バス利用団体／利用日数 延べ97団体／延べ98日</p>									
補助事業の内容	市が所有する公共用バスの修繕及び更新									
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成25年度から令和6年度 基金の処分：平成26年度から令和6年度									
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)					基金 処 分 額 (B)	基金 残 額 (A)-(B)	継続事業 に要した額		
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益				計	
		円	円	円	円	円	円	円	円	円
	25	8,900,000				8,900,000		8,900,000		
	26	8,000,000				8,000,000	8,586,000	8,314,000	8,586,000	
	27	20,000,000				20,000,000	1,068,000	27,246,000	1,069,264	
	28	9,680,000				9,680,000	1,309,000	35,617,000	1,309,674	
	29	6,000,000				6,000,000	2,550,000	39,067,000	2,557,885	
	30	6,000,000				6,000,000	780,000	44,287,000	784,624	
	元	6,000,000				6,000,000	30,471,000	19,816,000	30,471,991	
2	6,000,000				6,000,000	747,000	25,069,000	747,919		
3	6,000,000				6,000,000	9,379,000	21,690,000	9,379,703		
4	6,000,000				6,000,000	469,000	27,221,000	469,045		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]</p> <p>利用対象である各種団体の公共用バス活用において、利用者数は新型コロナウイルスの影響により大幅に減少しているものの前年度と比較をすると、コロナ禍前に戻りつつある。</p> <p>利用団体にアンケート等の調査を行った結果「車内がきれいいで快適に利用できた」「コロナ禍が落ち着いたら活用したい」等の声が挙がり、多くの団体が「次回も利用したい」と好評である。</p> <p>このことから当事業により、円滑な社会福祉活動の一助として支援ができる環境を確保できたものと考え。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況]</p> <p>①バス側面にステッカーを貼り、車内にも掲示 ②市ホームページに掲載 ③市広報誌に掲載</p>									
事業の改善措置及び今後の対応	無									
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無									

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者期間の名称及び構成員等を記載すること。

## 事業評価書

補助事業名	産業の振興に寄与する事業:小美玉市地域再生交流拠点施設維持管理運営等事業基金								
補助事業者名	小美玉市								
実施場所	小美玉市山野1628-44(空のえき「そ・ら・ら」)								
補助事業の成果の目標	<p>空のえき「そ・ら・ら」は、平成26年7月31日にオープンして8年5ヶ月が経過し、現在約401万人の来場者を迎えたところである。</p> <p>地場製品の販売、地場産品を味わえる施設、イベントの開催、屋内外広場を充実させ、地域経済の活性化につなげ、地域活動交流拠点としての環境の確保を整え、さらなる集客を図る。</p> <p><b>【参考指標】</b></p> <p>平成29年度 来場者数 480,300人  平成30年度 来場者数 514,400人  令和1年度 来場者数 458,700人  令和2年度 来場者数 355,700人  令和3年度 来場者数 390,700人</p>								
補助事業の内容	地域再生交流拠点施設の維持管理及び運営等								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成30年度から令和7年度 基金の処分:令和元年度から令和8年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)					基金処分額(B)	基金残額(A)-(B)	継続事業に要した額	
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益				計
		円	円	円	円	円	円	円	円
	H30	50,000,000				50,000,000		50,000,000	
	R1	41,043,000				41,043,000	9,234,000	81,809,000	9,234,635
	R2	62,074,000				62,074,000	30,000,000	113,883,000	30,527,436
R3	33,994,000				33,994,000	30,000,000	117,877,000	33,078,600	
R4	50,000,000				50,000,000	30,000,000	137,877,000	35,687,774	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]  新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた令和3年度と比較し、令和4年度の「そ・ら・ら」全体の売り上げは約116.7%の増となっている。</p> <p>その中でも来場者のアンケートでは約7割強の来場者が「普通～満足」や「再度来場したい」との回答を得られており、目標は達成できたと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況]  ①毎月発行している「そ・ら・らNews」に掲示  ②市ホームページ及び「そ・ら・ら」ホームページに掲載</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

事 業 評 価 書

補助事業名	教育文化施設:小美玉市図書館図書資料等整備基金																																											
補助事業者名	小美玉市																																											
実施場所	小美玉市小川1664-2(小川図書館)																																											
補助事業の 成果の目標	<p>小美玉市図書館は市民の学習意欲を支援する施設として、新刊図書の購入及び貸出、県内図書館等との連携による貸出サービス等、地域住民の実情に即したきめ細かい奉仕作業により、親しみやすい図書館として広く利用されるよう図書資料の整備充実、サービス体制の強化を図り、市民の生活文化の向上に努める。</p> <p>【参考指数】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>平成30年度</td> <td>来館者数</td> <td>54,577人</td> <td>資料購入数</td> <td>5,139点</td> <td>資料貸出数</td> <td>142,264点</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>来館者数</td> <td>47,495人</td> <td>資料購入数</td> <td>4,633点</td> <td>資料貸出数</td> <td>133,389点</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>来館者数</td> <td>23,488人</td> <td>資料購入数</td> <td>4,168点</td> <td>資料貸出数</td> <td>92,965点</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>来館者数</td> <td>26,838人</td> <td>資料購入数</td> <td>3,342点</td> <td>資料貸出数</td> <td>95,715点</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>来館者数</td> <td>35,706人</td> <td>資料購入数</td> <td>4,645点</td> <td>資料貸出数</td> <td>118,319点</td> </tr> </table>									平成30年度	来館者数	54,577人	資料購入数	5,139点	資料貸出数	142,264点	令和元年度	来館者数	47,495人	資料購入数	4,633点	資料貸出数	133,389点	令和2年度	来館者数	23,488人	資料購入数	4,168点	資料貸出数	92,965点	令和3年度	来館者数	26,838人	資料購入数	3,342点	資料貸出数	95,715点	令和4年度	来館者数	35,706人	資料購入数	4,645点	資料貸出数	118,319点
平成30年度	来館者数	54,577人	資料購入数	5,139点	資料貸出数	142,264点																																						
令和元年度	来館者数	47,495人	資料購入数	4,633点	資料貸出数	133,389点																																						
令和2年度	来館者数	23,488人	資料購入数	4,168点	資料貸出数	92,965点																																						
令和3年度	来館者数	26,838人	資料購入数	3,342点	資料貸出数	95,715点																																						
令和4年度	来館者数	35,706人	資料購入数	4,645点	資料貸出数	118,319点																																						
補助事業の内容	図書館資料の購入																																											
補助事業の 始期及び終期	基金の造成:令和元年度から令和8年度 基金の処分:令和2年度から令和9年度																																											
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)						基金 処分額 (B)	基金 残 額 (A)-(B)	継続事業 に要した 額																																			
	年度	交付金	市町村 費 等	その他	運用益	計																																						
	R1	4,900,000				4,900,000	0	4,900,000	0																																			
	R2	4,900,000				4,900,000	2,000,000	2,900,000	2,000,271																																			
	R3	4,900,000				4,900,000	3,000,000	1,900,000	3,000,042																																			
R4	4,900,000				4,900,000	4,900,000	0	4,901,624																																				
補助事業の成果及び 評価並びに地域住民 への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 来館者数・貸出点数は新型コロナウイルス流行前の水準にまだ及ばないが、利用者アンケートにおいて「図書館の満足度」に関する各質問項目への回答が、「満足」「やや満足」「普通」あわせて約87%の評価を得ており、目標は達成できたと判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕                      ①図書館内に掲示                      ②図書館ホームページに掲載                      ③図書資料奥付にスタンプ印を押印</p>																																											
事業の改善措置及び 今後の対応	無																																											
事業の評価に際しての 第三者機関の活用の 有無	無																																											

## 事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:文化施設等維持管理運営等事業基金								
補助事業者名	小美玉市長								
実施場所	小美玉市小川225(小川文化センター)								
補助事業の成果の目標	<p>小美玉市は文化ホールとして3つの施設があり、その中で小川文化センターは、昭和57年に開館して以来、約40年が経過し、年間約6万人が利用している。 大ホールは1,081席を備えており、芸能、文化イベントや学園発表会、式典行事が行われ、小ホールや会議室は文化行事や会議など幅広く利用されている。 交付金を活用し、保守点検等を始め施設の維持管理を適切に行うことで、文化施設の利用者が安心して快適に利用できるようにし、またこの施設を利用したくなるようにすることで、文化の振興と地域の活性化を図る。</p> <p>【参考指数】 令和2年度 施設利用者数 6,597人 【耐震・改修工事及び新型コロナウイルス感染症対策のため利用制限有】 令和3年度 施設利用者数 30,077人 【新型コロナウイルス感染症対策のため利用制限有】 令和4年度 施設利用者数 44,978人 【新型コロナウイルス感染症対策のため利用制限有】</p>								
補助事業の内容	小美玉市文化施設等の維持管理及び運営等に係る事業								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:令和2年度から令和11年度 基金の処分:令和3年度から令和12年度								
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)					基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に要した額	
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益				計
	令和	円	円	円	円	円	円	円	円
	2	83,000,000	0	0	0	83,000,000	0	83,000,000	0
	3	23,430,000	0	0	0	23,430,000	15,982,000	90,448,000	15,982,742
4	50,000,000	0	0	0	50,000,000	24,741,000	115,707,000	26,343,085	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] アンケートの結果、安心して施設を利用できたとの回答が多く寄せられ、(自由記述)でも「また施設を利用したい」「快適に展示会を開催できた」と肯定的な意見が寄せられた。 上記の結果を受けて、本市としては交付申請時の目標が達成されたと判断する。 [地域住民への周知の実施方法] 市並びに施設ホームページへの掲載及び施設入口案内板への掲示により実施した。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								



## 事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:小美玉市情報教育支援基金								
補助事業者名	小美玉市								
実施場所	小美玉市内小学校及び中学校								
補助事業の成果の目標	<p>当市の小中学校では、優先的に整備すべきICT環境整備について「平成30年度以降の学校におけるICT環境の整備方針」に基づき整備を行ってきた。</p> <p>現在、社会のあらゆる場所でICTの活用が日常のものとなっている中で、1人1台端末の整備を行い、普通教室での活用や個別学習、グループごとの発表等協働学習等に活用している。</p> <p>小中学校のICT環境の授業活用の機会を促進し、特別教室や校外での学習等にも取り入れることで、一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の向上を図るものである。</p> <p>【参考指数】児童・生徒数:3,410人 (R5. 5. 1現在)</p> <p>小川南小 374人、竹原小 188人、羽鳥小 497人、堅倉小 225人、納場小 285人、小川北義務教育学校(前期課程)287人、玉里学園義務教育学校(前期課程) 340人 小川南中 236人、美野里中 632人、小川北義務教育学校(後期課程)158人、玉里学園義務教育学校(後期課程) 188人</p>								
補助事業の内容	<p>情報機器の維持管理に係る保守業務 タブレット端末の活用に伴う通信費用 タブレット端末の活用に係る授業支援ソフト等の導入運用 情報機器を活用したオンライン授業等で教材等を使用する著作権の補償 PC教室の設定内容の変更業務 大判プリンタ・プロジェクターのリース導入</p>								
補助事業の始期及び終期	<p>基金の造成:平成30年度から令和10年度 基金の処分:令和元年度から令和10年度</p>								
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)						基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に要した額
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	H30	60,004,000	0	0	0	60,004,000		60,004,000	
	R1	60,000,000	0	0	0	60,000,000	40,521,000	79,483,000	44,852,095
	R2	92,487,000	0	0	0	92,487,000	52,344,000	119,626,000	56,676,112
R3	60,000,000	0	0	0	60,000,000	36,056,000	143,570,000	39,584,320	
R4	99,890,000	0	0	0	99,890,000	44,364,000	199,096,000	47,965,907	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】</p> <p>各学校の教職員、児童生徒に「児童生徒のICT活用に関するアンケート」を実施したところ、「パソコンやタブレットを使うことが楽しい」と感じる児童生徒が94.9%、「パソコンやタブレットを活用した授業がしたい」と考える児童生徒が87.8%おり、ICT活用にかかる充実感を9割近い児童生徒が得ているため、目標は達成したと評価する。</p> <p>活用される教科は、「社会」が最も多く約42.9%、次いで「算数」が約28.6%という結果となり、反対に、活用が難しいとされる教科は、「国語」が約66.7%という結果になった。</p> <p>活用実績は、通常授業のほか、家庭学習や屋外授業が挙げられる。特にプロジェクトを用いた授業では、教材を拡大表示して説明するなど「わかりやすい授業」に貢献している。</p> <p>今後の展望として、児童生徒が活用に対して意欲を示していることから、子どもたちが効果的な学習を進められるよう教職員と連携を図りながら、さらなる活用率向上を推進する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校だよりに掲載し、保護者及び地区住民へ周知</li> <li>2. 市ホームページ等で掲示</li> </ol>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								